

W-Cupのヨーロッパにおける開幕戦、ウラルティゼール
は、毎年、何かの奇跡が起きる場所として知られてい
る。このコースで起きる奇跡の物語りの中で際
立っているのは、1976年シーズンの開幕戦の滑
降である。スタートナンバー1番を叩いて、
初めてワールドを滑る、カナダの新鋭、ケ
ン・リードが、イタリアのフランチ、スイス
のルッシー達を破って、優勝してしまっ
たのである。4位はティーン・アーウィン、9位は
ジム・ハンター、10位はスティーブ・ポドボル

スキーを入れた。カタダ、ダウンヒルチームは
この日から、クレージーカタダ（現名を知ら
ないカタダ人達）の称号が与えられ、滑降レ
ースの主役の座を占めることになった。

No.